

北海道

えさし  
～エエ町江差～

# 知って・来て・観て特別展示Day in 丸の内マルシェ



日時：2022年12月16日(金)11:30～19:30

会場：新丸ビル 地下エントランス付近(丸の内駅前広場地下)

丸の内マルシェ  
の詳細は⇒



## イベント概要

### ☆北海道江差町物産展

江差町の各種名産品を会場にて特別販売！

### ☆北海道江差町紹介コーナー

江差町の観光パンフレットやふるさと納税おすすめ品のチラシなど用意しています。これを見れば江差町の魅力が丸分かり！

◎ 会場内でアンケートにお答えいただいた

**先着200名様に、江差を代表する  
老舗和菓子屋五勝手屋本舗の「ミニ丸缶羊羹」  
1本をプレゼント！**

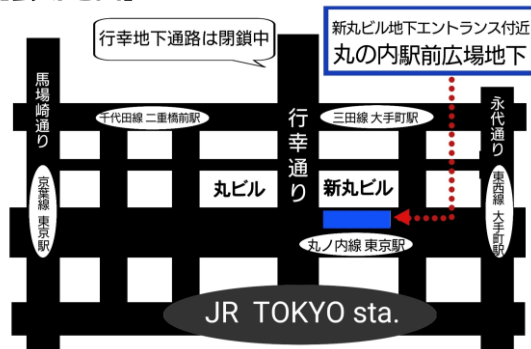
※アンケートにお答えいただける方は、成人に限ります。

※参加費は必要ありません。



※写真はイメージです

## 【会場地図】



※会場は変更となる可能性があります。  
詳細については上記QRコードより青空市場HPをご確認ください。

お届けしたのは・・・

北海道函館市本町6-7

第一生命保険株式会社函館支社

森田 智也

Tel:080-2138-6734

Mail:Morita610@daiichilife.com



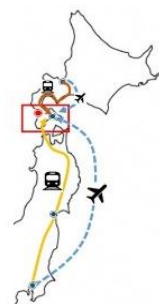
# 北海道江差町の紹介



## 江差町へのアクセス情報

◆北海道新幹線ご利用の場合  
新函館北斗駅・本古内駅から (車で) ともに約60分  
(バス) ともに約90分

◆空路ご利用の場合  
函館空港から (車で) 約90分  
(バス) 約120分



江差町は、北海道の南西部の日本海側に位置します。江戸時代にニシン漁と北前船の交易で栄えた港町です。その当時の面影が、町並みや「江差追分」をはじめとする文化、自然といった形で今も受け継がれています。平成29年には日本遺産にも認定されました。これらの古き良きものに新しいエッセンスを加え、「古くて新しい町」を目指しています。

## ニシンの交易に彩られた歴史的背景！観光として楽しむなら

【日本遺産認定ストーリー】  
江差の五月は江戸にもない  
ーニシンの繁栄が息づく町ー



江差町のキャラクター「しげっち」

### Point1

「江差の町並みーいにしえ街道ー」⇒江差の歴史を味わう！

江差町はニシンの交易で栄えた港町です。当時は多くの交易船が江差を訪れ「江差の五月は江戸にもない」と言われるほどの賑わいを見せていました。ニシンの繁栄が息づく町として、その当時から続く多くの歴史や文化、建造物などが今も残され、いにしえの雰囲気を感じることができます。その当時から再現した旧国道の「いにしえ街道」はおおよそ1.1kmですが、そのエリアに見どころがたくさん詰まっています。江差に来たらずは2～3時間過ごしてほしいおすすめスポットです。

### Point2

「船頭さんたちが伝えた!?ー江差追分ー」⇒江差と言えば！

民謡に携わる人、そうでない方にも江差追分は全国的にも有名な民謡です。他の民謡のように音階を五線譜で表すのではなく、波をイメージさせる独自の基本譜があり、節まわしも独特の唄です。難しい唄とも言われますが、これまでの歴史の中で育まれてきた江差追分節は、聞く人の涙や感動を誘います。4月下旬から10月末まで江差追分会館で実演を行っており、生の唄を聞くことができます。地元の師匠に指導をいただける体験も行っています。旅の思い出に江差追分をぜひ一節唄ってみてはいかがでしょうか？

### Point3

「江差のシンボルーかもめ島ー」⇒ファミリーで学んで、遊んで！

かつて、かもめ島がまだ弁天島と呼ばれていたころ、天然の良港を築くこの島はニシン漁や北前船交易の舞台でした。江差の歴史はかもめ島から始まったと言っても過言ではありません。そして今、江差のシンボルとして多くの人に愛され、親しまれています。景観を楽しむことももちろんですが、磯力二つりや夏は海水浴、島上に広がる緑のじゅうたんでのピクニックなどファミリーの憩いの場として楽しむことができます。2021年から手ぶらで楽しめるキャンプや豪華な「グランピング」も体験できるようになりました！